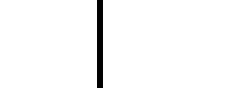
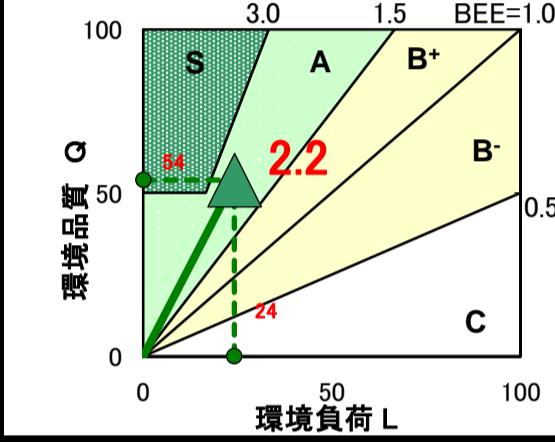
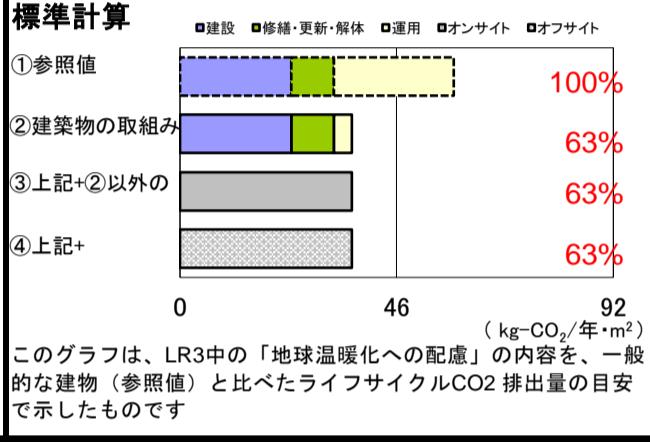
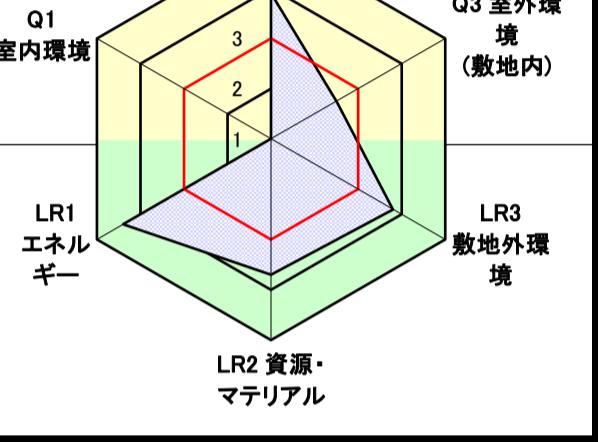


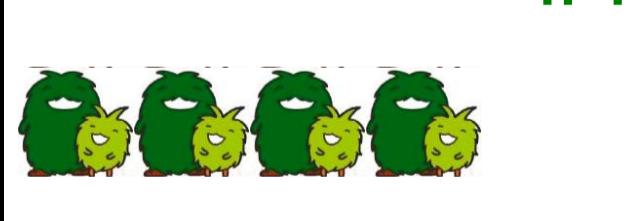
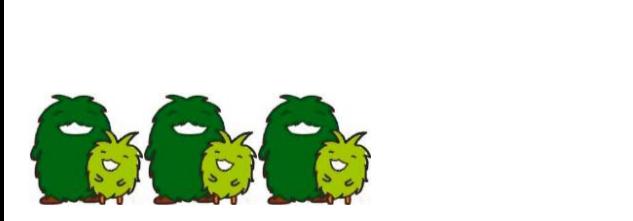
CASBEE あいち

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DIC(株)小牧工場第2一般倉庫	階数	地上2階
建設地	愛知県小牧市大字下末字流151-1、他17筆	構造	S, SRC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	4人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年10月25日
敷地面積	7,858 m ²	作成者	丸山 健太
建築面積	5,883 m ²	確認日	2021年11月5日
延床面積	10,924 m ²	確認者	細沢 貴史

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)									
BEE = 2.2													
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★	30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆	<p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>63%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフケーブルCO₂排出量の目安で示したものです</p>				①参照値	100%	②建築物の取組み	63%	③上記+②以外の	63%	④上記+	63%
①参照値	100%												
②建築物の取組み	63%												
③上記+②以外の	63%												
④上記+	63%												
													

2-4 中項目の評価(バーチャート)																																											
<p>Q 環境品質</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4">Q1 室内環境</td> </tr> <tr> <td colspan="4">Q1のスコア= 0.0</td> </tr> <tr> <td>音環境</td> <td>温熱環境</td> <td>光・視環境</td> <td>空気質環境</td> </tr> <tr> <td colspan="4">N.A. N.A. N.A. N.A.</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">Q2 サービス性能</td> </tr> <tr> <td colspan="3">Q2のスコア= 3.9</td> </tr> <tr> <td>機能性</td> <td>耐用性</td> <td>対応性</td> </tr> <tr> <td colspan="3">3.1 4.8</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">Q3 室外環境 (敷地内)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">Q3のスコア= 2.5</td> </tr> <tr> <td>生物環境</td> <td>まちなみ</td> <td>地域性・</td> </tr> <tr> <td colspan="3">2.0 3.0 2.5</td> </tr> </table>				Q1 室内環境				Q1のスコア= 0.0				音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境	N.A. N.A. N.A. N.A.				Q2 サービス性能			Q2のスコア= 3.9			機能性	耐用性	対応性	3.1 4.8			Q3 室外環境 (敷地内)			Q3のスコア= 2.5			生物環境	まちなみ	地域性・	2.0 3.0 2.5		
Q1 室内環境																																											
Q1のスコア= 0.0																																											
音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境																																								
N.A. N.A. N.A. N.A.																																											
Q2 サービス性能																																											
Q2のスコア= 3.9																																											
機能性	耐用性	対応性																																									
3.1 4.8																																											
Q3 室外環境 (敷地内)																																											
Q3のスコア= 2.5																																											
生物環境	まちなみ	地域性・																																									
2.0 3.0 2.5																																											
<p>LR 環境負荷低減</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4">LR1 エネルギー</td> </tr> <tr> <td colspan="4">LR1のスコア= 4.4</td> </tr> <tr> <td>建物外皮の</td> <td>自然エネ</td> <td>設備システ</td> <td>効率的</td> </tr> <tr> <td colspan="4">5.0 3.0 5.0 3.0</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">LR2 資源・マテリアル</td> </tr> <tr> <td colspan="3">LR2のスコア= 3.7</td> </tr> <tr> <td>水資源</td> <td>非再生材料の</td> <td>汚染物質</td> </tr> <tr> <td colspan="3">3.0 3.4 5.0</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">LR3 敷地外環境</td> </tr> <tr> <td colspan="3">LR3のスコア= 3.8</td> </tr> <tr> <td>地球温暖化</td> <td>地域環境</td> <td>周辺環境</td> </tr> <tr> <td colspan="3">4.4 3.9 3.2</td> </tr> </table>				LR1 エネルギー				LR1のスコア= 4.4				建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的	5.0 3.0 5.0 3.0				LR2 資源・マテリアル			LR2のスコア= 3.7			水資源	非再生材料の	汚染物質	3.0 3.4 5.0			LR3 敷地外環境			LR3のスコア= 3.8			地球温暖化	地域環境	周辺環境	4.4 3.9 3.2		
LR1 エネルギー																																											
LR1のスコア= 4.4																																											
建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的																																								
5.0 3.0 5.0 3.0																																											
LR2 資源・マテリアル																																											
LR2のスコア= 3.7																																											
水資源	非再生材料の	汚染物質																																									
3.0 3.4 5.0																																											
LR3 敷地外環境																																											
LR3のスコア= 3.8																																											
地球温暖化	地域環境	周辺環境																																									
4.4 3.9 3.2																																											

3 重点項目			
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	4.4	2.0
		外構緑化指數(外構緑化面積/外構面積) 64.4 %	外構緑化指數(外構緑化面積/外構面積) 64.4 %
②資源の有効活用	④地域材の活用	3.7	1.0
		建物緑化指數(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %	建物緑化指數(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性

LR-2-2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3-1 生物環境の保全と創出

$$\text{外構緑化指數} = \frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$$

$$\text{建物緑化指數} = \frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$$



スコアシート 実施設計段階			環境配慮設計の概要記入欄												■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き		欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI						
配慮項目			独自基準	重点項目	建物全体・共用部分						建物全体・共用部分						住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体		
Q 建築物の環境品質					評価点						評価点						評価点		評価点		重み係数		
Q1 室内環境																					3.1		
1 音環境																					-		
1.1 室内騒音レベル																					-		
1.2 遮音																					-		
1 開口部遮音性能																					-		
2 界壁遮音性能																					-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																					-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																					-		
1.3 吸音																					-		
2 溫熱環境																					-		
2.1 室温制御																					-		
1 室温																					-		
2 外皮性能																					-		
3 ゾーン別制御性																					-		
2.2 湿度制御																					-		
2.3 空調方式																					-		
3 光・視環境																					-		
3.1 昼光利用																					-		
1 昼光率																					-		
2 方位別開口																					-		
3 昼光利用設備																					-		
3.2 グレア対策																					-		
1 昼光制御																					-		
3.3 照度																					-		
3.4 照明制御																					-		
4 空気質環境																					-		
4.1 発生源対策																					-		
1 化学汚染物質																					-		
4.2 換気																					-		
1 換気量																					-		
2 自然換気性能																					-		
3 取り入れ外気への配慮																					-		
4.3 運用管理																					-		
1 CO ₂ の監視																					-		
2 噴煙の制御																					-		
Q2 サービス性能																					3.9		
1 機能性																					-		
1.1 機能性・使いやすさ																					-		
1 広さ・収納性																					-		
2 高度情報通信設備対応																					-		
3 パリアフリー計画																					-		
1.2 心理性・快適性																					-		
1 広さ感・景観 (天井高)																					-		
2 リフレッシュスペース																					-		
3 内装計画																					-		
1.3 維持管理																					-		
1 維持管理に配慮した設計																					-		
2 維持管理用機能の確保																					-		
2 耐用性・信頼性																					3.1		
2.1 耐震・免震・制震・制振																					-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)																					-		
2 免震・制震・制振性能																					-		
2.2 部品・部材の耐用年数																					-		
1 車体材料の耐用年数																					-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																							

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.4	0.10	
② 資源の有効活用				3.7
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.8	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:64.4%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}$
重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用
重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 DIC(株)小牧工場第2一般倉庫

計画上の配慮事項	
総合	倉庫として空間のゆとりを持たせ、周辺に調和した建物としている。また、エネルギー使用量を抑え、設備更新性を考慮した計画としている。さらに、建築材料や敷地外環境への配慮も行っている。
Q1 室内環境	工場用途かつ居住エリアが無い建物の為、評価対象外。
Q2 サービス性能	階高3.9m以上、壁長さ比率0.06として空間のゆとりを持った建物としている。設備配管類は主に露出とし、更新性を高めている。
Q3 室外環境(敷地内)	周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。植栽や庇を設けることにより日陰の形成に努めている。高温排熱を伴う建築設備を設けていない。
LR1 エネルギー	建築物省エネ法の計算対象外。
LR2 資源・マテリアル	躯体材料以外においてリサイクル材を使用している。設備配管類を主に露出配管とすることで部材の再利用可能性向上に取り組んでいる。有害物質を含まない材料を使用している。発泡剤を用いた断熱材を使用していない。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率56%としている。燃焼機器を使用していない。駐輪場、駐車スペースを確保している。
その他	